2026 年 10 月 30 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

株式会社島津製作所と「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員　大澤（おおさわ） 正和（まさかず））は、株式会社島津製作所（代表取締役社長　山本（やまもと）　靖則（やすのり））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション[1]等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるシンジケーション方式のタームローン契約（以下、本ローン）を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

島津グループでは、経営理念「『人と地球の健康』への願いを実現する」のもと、気候変動への対応を重要な経営課題の一つとしています。「2050 年度に事業活動に伴う CO_2排出量を実質ゼロとする」という長期目標を掲げ、脱炭素経営を推進するとともに、環境計測や温室効果ガス分析などの製品・サービスを通じて社会全体の脱炭素化に貢献しています。

本ローンにおいては、以下の KPI／SPT を設定しています。KPI／SPT である CDP 気候変動スコアは、CDP が実施する気候変動に関する情報開示・評価に基づく指標であり、企業の気候変動への取り組みを客観的に評価する指標として国際的に広く活用されています。三菱 UFJ 銀行では、こうした客観性・透明性を有する CDP 気候変動スコアを、サステナビリティ・リンク・ローンにおける重要な指標と位置付けています。また、島津製作所としては、「2050 年度にグループの事業活動における CO_2排出量を実質ゼロ」という長期目標を設定しており、CDP 気候変動スコアを通じて取り組みを推進させていくことは、当社にとって中核的で重要なものであり高い戦略的意義を有すると考えております。

【本ローンの概要】

契約締結日	2026 年 10 月 27 日
アレンジャー	株式会社三菱 UFJ 銀行
組成金額	200 億円

KPI：CDP 気候変動スコア　（CDP スコア統合後は統合後のスコア）
SPT：達成判定までの期間にわたり CDP 気候変動スコア A-以上を維持

また、本ローンでは、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPT の合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする

全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。

以　上